



白陵会総会

来る11月10日(日)開催

会員の皆さんお元気ですか。すがすがしい秋がやってきました。仕事に、スポーツに、また学生の皆さんは勉学にと大いに頑張っているらしいことと思います。

秋風と共に皆様方へお届けする第四号は、総会のご案内です。皆さんが在学中大切に育てて下さった学園道路の榎並木もその幹を大空へ大きく伸ばし、周囲の緑に溶け込んで白陵の代表的な存在となりました。また、躍進を続ける白陵の評価は年々高くなっていますが、東大・京大合格者数において二年連続兵庫県下第三位の成績を納めた今春の実績により、今や全国屈指の進学校としての地位を確固たるものとしています。このように、大空高く舞い上り新たな飛躍を期して前進を続ける白陵の勇姿は、我々卒業生にとって誠に誇らしいかぎりです。

総会の機会に、発展著しい母校に集い、懐旧談に花を咲かせてみるのはいかがでしょう。久しぶりに会う懐かしい顔に高校時代の思い出がきつと次から次へと湧き出てくることと思います。秋晴れの一日、白陵の森にこだまする皆さんの懐かしい声は今からもう聞こえてくるようです。皆さんにお会いできるのを楽しみにお待ちしております。ぜひ、ご参加下さい!!

出・欠ハガキはお早めに 詳細は4・5頁を
ごらん下さい

総会のご案内

★日時 昭和六十年
十一月十日(日)

★会場 白陵高等学校内
白陵会館
体育館

★会費 五、〇〇〇円
(記念品代含む)

○受付開始 午前九時

○総会(白陵会館)

十時より
十一時

○懇親会(体育館)

十一時十五分より

十四時終了予定

アトラクションゲスト

大平サブロー・シロー

大助・花子

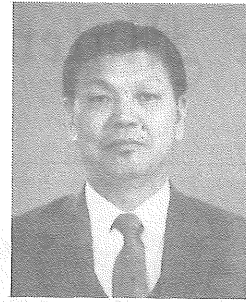
※当日はできるだけ車はご遠慮下さい。

※出欠は十月十五日(火)までにご連絡下さい。

※会費は当日受付でいただきます。

思いつくままに

——ご挨拶にかえて—— 理事長 三木一正



昨年十一月三日正式に理事長の大役を拝命いたしました。今や学校法人三木学園も兵庫・岡山両県にまたがり職員数も一五〇名の大世帯となりました。今後更に堅実かつ積極的な経営努力を重ねて参ります。各位のご協力をお願い申し上げます。

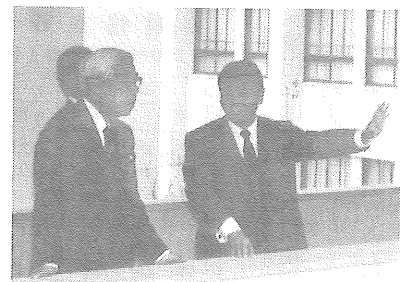
「締め切りが近いですよ」とそれとなく原稿を督促されて思わず唇に目をやる。九月もはや半ば、明日は運動会だ。その席上同窓会から新調の大カップが優勝チームに手渡される。新しいカップのペナントにその名を最初に刻むことの喜びに生徒たちは汗を流して精進することだろう。運動会といえは借物競争に借りだされ女生徒と手をつなぎ力一杯の疾走(?)をみせた今は亡き学園長を思いだす。それにしても天は無情だ。「死」はある日突然にやってくる。全身から力がぬけた。虚脱感については文字通りのろうばいである。あの日は暑かったが丁度この原稿を頼まれたその日も暑かった。梅雨のあと雨が降らず炎天下に学園内の木が一部紅葉(?)ならぬ枯かっし始めた。とにかく猛暑だった。その暑さに追いつちをかけるように日航ジャンボの墜落である。一瞬ヒヤリとする。今年から北海道への修学旅行を往復とも日航の

ジャンボにきりかえたばかりだった。これはえらいことになったと思案していたら奇蹟が起った。四人の生存者があつたというのだ。釘づけのテレビ画面に一命をとりとめた一人の少女がヘリコプターに救出されるシーンが写しだされる。これはもう感動というほかはない。生命力のはかりしれぬ強じんさにはほとほと感服する。運がよかつたのだという人もいるがそれだけではないだろう。生きることに對する無言の執着が奇蹟をよんだともいえる。「運は運ぶなり」だと教えてくれた人がいた。確しか故学園長のお父さんだった。「運は待っていてもきまへんで。足を運んでやらな運は開きまへん。」そういえば白陵も開校の昭和三十八年以來ガムシヤラに猪突邁進した。紆余曲折を経て形を整えはじめたと思つた矢先の学園長の死であつた。白陵は学園長とも墜落した、と思つた人も多かつただろうが、どっこい生きてい



60年1月 励ます会で将来の展望と力強い決意表明

た。まさに不死鳥の如くよみがえつたのだ。「日本一の学校」をめざした学園長の遺志はその教えをうけたものによってひきつがれた。同窓会の静かなさざ波のように一つのまとまりとなつておしよせる力がそれである。その息吹きが今日の隆盛をよびおこす原動力となつた。大学進学成績だけをとつてみても東大・京大の合格者が三十五名となり、姉妹校の岡山白陵を加えるとなんと五十名にも達した。両校の卒業生の数が丁度二五〇名だからこれはまさに快挙といえる。ところが皮肉なことにその数字は学園長の死後にあらわれた。それだけに学園長にとっては文字通り命を賦けた大事業だつたといえるだろう。先般これ又同窓会のご支援をえて白陵会館前に故学園長の胸像ができあがつた。さいわい今年の十一月には久々にかつ盛大に総会が開かれ



60年5月 坂井時忠兵庫県知事来校

ると聞いている。ぜひ参加して懐旧談に花を咲かせ明日の白陵を語りあつてもらおうとともに、白陵健児ここにありの気概と活力を在校生にうえつけてやってほしい。先日来校された坂井兵庫県知事は緑の多いキャンパスをみて驚嘆の讃辞をおしまれなかつたが、明日はこの教育の森に、同窓会寄贈の大カップめざして青春のどよめきがこだますることだろう。

近時思いつくままを記し、日頃の同窓会のご協力を謝し、今後一層のご支援をお願いしてご挨拶といたします。

新理事長の横顔

昭和三十九年、故三木準一氏(園長先生のご尊父)に招かれて以來、法人事務局長として経営手腕を発揮、常に故園長先生を補佐し今日の白陵の隆盛に大いに寄与。園長先生急逝後は、理事長代理として陣頭指揮。大躍進する白陵の管理統率に当たる。昭和六十年生れ、五十四歳。趣味は演劇で姫路でアマチュア劇団を主宰。

会長就任にあたって



会長 黒川 芳一

暑い夏が過ぎ、朝夕に流れる風は涼しさをはこんでくれる今日この頃、御学兄におかれましては、益々御健勝のことお慶び申し上げます。

この度、任期満了に伴い黒坂前会長より白陵会会長を引き継ぐことになりました。白陵会が新しく生まれ変わって早くも六年目を迎えました。この間、昭和五十八年七月十五日、三木省吾学園長の突然の死は、「園長先生追悼文集」にその悲しみが切々と書れています。私達に大きなショックを与えました。

しかし、大きな悲しみを乗り越え白陵高校は、三木新理事長を中心に力強く前進しております。

又、我々白陵会では、昭和五十五年に会員名簿の発刊を出発に、会報「我が母校白陵」の発行、「園長先生追悼文集」二十周年を記念しての白陵会館設立では同窓生諸氏より一、五〇〇万円

もの寄付金が寄せられました。

本年度は十一月十日(日)に会員全員参加を目指して盛大なる総会を行うことになり、役員一同着々と準備を進めています。この行動力ある白陵会は、母校愛に燃える黒坂前会長のリーダーシップで成し得たものです。この意志を微力な私ですが、受け継ぎ役員一同、力を合せて母校の発展、白陵会の充実に全力を傾けてまいります。このことが、亡き園長先生が理想とされた日本一の学園に一步でも近づくお手伝いとなれば幸いです。

最後に、同窓生諸氏の格段のご支援ご協力をお願い申し上げます。ごあいさつに致します。

(来る十一月十日には、母校に集い恩師や旧友と会いみなさま方と共に懐かしい高校時代を語り合いたいと思います。ぜひご出席いただきますようお願い申し上げます。)

同窓会の皆さんへ



校長 八木 誠造

この四月に本校に着任しましてからはや五か月が過ぎました。少しは学校の様子も分かってきたというところでしょうか。

生徒諸君は素晴らしい環境の中で、孜孜として勉学に部活動にいそしんでいます。彼らの前途は洋々たりとはいえず、所期の目的達成への大きな難関が横たわっていることは間違いありません。目指す大学への入学を可能にするために、私たち教職員の指導責務もまた大きいと言わざるを得ません。

今や本校の卒業生が三千名を超え、同窓会の皆さんが各方面で活躍されています。そしてそれらの方々が母校に思いを致され、絶大なご支援をいただいていることを身にしみて感じています。今後とも皆さん方の暖かいご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

偉大な本学園の創設者三木省吾先生

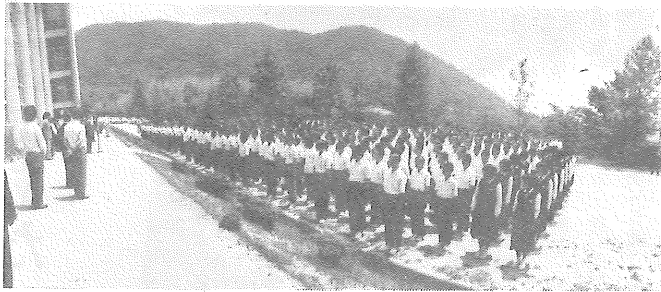
が逝かれて二年、ご命日の七月十五日には先生の胸像除幕式が行われました。先生が打ち建てられた建学の精神の高揚に努力邁進すべく、今更のように誓いを新にしました。

本学園の使命は、社会的に有為な人材の輩出にあるかと思っております。そのためにも己に厳しく、自らを律していく人間の育成を図るべきであろうと考えています。

今年の十一月十日(日)には、同窓会の総会が本校で催されることになっています。同窓会の皆さんが多数ご出席いただければ幸せだと思っております。

同窓会の皆さんのご健勝とご多幸を心より念じてごあいさついたします。
(第四代校長、前兵庫県教育委員会・淡路教育事務所長)

先生 懐かしのあの顔この顔 懐しや友



11月10日(日)総会でも会いましょう

教頭 浜田忠彦

進路指導部長 中安久隆

卒業生の皆様、如何お過しでしょうか。日頃の温かいお力添え厚く御礼申し上げます。この春、学園も第二十回の卒業生を送り出しまして、卒業生総勢三千名を越えることとなりました。

進学の結果も年毎にあがっています。櫛の並木も愈々見事になりました。そして、既に御案内の事と存じますが、去る七月十五日、故学園長がなくなられて丁度二年目の当日、一番お気に入りの建物であった白陵会館前の庭に先生の胸像をおつくり致しました。まだ御覧になってない方も多くいらつしやるのではないかと思います。

白陵会の役員の方々、いつも学園の為物心両面におきまして実に多くの御支援を賜っておりますが、その方々からのお話によりますと、本年秋十一月十日(日曜日)学園で白陵会総会を催す御計画をお持ちのようで、これを機に多数の方々にお集り頂いて日頃の御活躍振りなどお聞かせ下され度、また故学園長の面影、母校のたたずまいなど御覧頂き度存じております。久々の総会ですので一人でも多くの方がおいで下さることを願っております。

三千名を越す卒業生の皆様お元気ですか、思っておこせば三期生の諸君にはじめてお会いして以来十八年の歳月が流れました。この間いろいろな出来事がありました。特に三期生諸君には入院中に数々の激励の手紙や寄せ書き、また心暖まる見舞い……、また下宿へ遊びに来た諸君には何か一言思い出に残ることを書き残せと言つてつづつた思い出のアルバム……。時々暇をみつけては本箱の隅から出してきて思い出に耽っています。そのたびに一人一人の懐かしい面影が浮かんできます。さてこの度久しぶりの同窓生の集いが開かれると聞いて今から皆様に会えることを楽しみにしています。ぜひこの機会に一人でも多くの人が集い、思い出話をしようではありませんか。多方面に活躍中の諸君にとつては忙しいとは思いますが、一人でも多くの出席を心待ちにしています。

総会には現職・旧職の先生方を多数お招きしています。

懐かしい恩師を囲んでの語らい。

記念写真を撮るのも楽しいですよ。

懐かしい校舎 懐かしの教室 懐かしい



総会は大きなクラス会

皆さんがそれぞれ行っておられるクラス会を持ち寄って大きなクラス会をしてみませんか。小さな輪が大きな輪になって、懐かしさ、楽しさがきつと二倍、三倍になると思います。「おっ、久しぶり元気か?」「懐かしいな。もう結婚したの?」はじめはこんな会話からはじまり、久しぶりに会う恩師、同級生、先輩、後輩にきつと話も弾むことでしょう。卒業後それぞれに立派にご活躍されている皆さんに、この日ばかりは高校時代にかえって思いっきり白陵生らしく過ごしていただきます。教室の椅子にかけるもよし、校内を散策するのもよし、思い出の場所まで心ゆくまで過ぎし学生時代を満喫して下さい。

同級生同志、クラブの仲間同志みんな誘って
お越し下さい。

集まれ!一期生〜二十期生

今や職場の中堅の一期生から、卒業ホヤホヤの二十期生まで。何と一期生が卒業の年に生まれたのが二十期生ですから驚きです。

成人式を終えた白陵の雄姿をぜひその目でご覧下さい。

出・欠のご返事は、同封のハガキで十月十五日までにお知らせ下さい

※欠席の方も、名簿作成資料としますので住所を

ご記入の上必ずご返信下さい。

懇親会には楽しい企画がいっぱい

ゲスト サブローシロー 大助 花子



ゲストには、テレビ等でお馴染みの「大平サブロー・シロー」「大助・花子」の二組をお招きしています。人気者の彼らと愉快に笑って、楽しいひと時を過ごして下さい。

プレゼント抽選会

当日ご出席の皆さんの中より抽選で?名の方にすてきなプレゼントをご用意しております。だれに何が当たるかお楽しみ。はずれた方にも記念品は必ずお持ち帰りいただきます。念のため。

その外、皆さんにご満足いただけるよう、楽しい企画や料理・飲み物をいっぱい用意して皆さんのお越しをお待ちしています。お楽しみに。

園長先生胸像完成

7月15日に
除幕式行われる



園長先生の胸像が完成し、その除幕式が三回忌にあたる昭和六十年七月十五日に行われました。

除幕式には多数の来賓をはじめ全職員・全校生が出席、三木一正理事長の挨拶に続いて出席者全員が献石、先生のご遺徳を偲んだ後、三十理事長、八木校長、三木美智子さん(ご遺族代表)の三人により除幕されました。胸像は京都市在住の日展入選作家、長田晴鳳先生作のブロンズ像で、題字は二代教頭の山本武夫先生が担当され、園長先生が学園内で最も好まれた白陵会館前庭の木立の中に学園道路を通る生徒達を見守る形で建立されています。また、胸像の横には学園創立二十周年の時、園長先生が生徒に残された言葉・「人間としての自己の存在を自覚し、生きていたことの証しを残して生涯を終れ」が先生の永遠の教えとして碑文に刻まれています。

尚、胸像建立に伴い、同窓会より百万円を寄付させていただきますことをご報告申し上げます。

大学入学試験合格者数調

白陵・岡山白陵 東大・京大合格者 50
卒 業 生 250

(白陵)

昭和60年 東大12,京大23,早大・慶大46,国公立大医学部20

—— 堂々兵庫県下第3位の実績 ——

国 公 立 大 学				
大 学 名	57年	58年	59年	60年
東 京 大	6	3	11	12
京 都 大	21	21	23	23
一 橋 大	1	5	1	
大 阪 大	10	10	8	12
北 海 道 大	4	4	4	3
東 北 大	2	4	2	3
横 浜 国 大	2	1		
筑 波 大		2	1	
名 古 屋 大	1	1	3	
九 州 大	1	2	1	2
神 戸 大	14	20	14	17
岡 山 大	4	4	5	2
広 島 大	4	1	1	6
防 衛 医 大	2	1	3	7
大 阪 市 大	3	7	3	4
そ の 他	41	46	53	37
合格者数 (内医学部)	116 (9)	132 (7)	133 (17)	127 (20)
対卒業生国公立大合格率	70.7%	82.0%	98.5%	75.4%

私 立 大 学				
大 学 名	57年	58年	59年	60年
早 稲 田 大	24	23	39	27
慶 応 大	27	22	19	19
上 智 大	5		7	4
中 央 大	7	6	6	3
東 京 理 大	3	12	3	4
明 治 大	4	1	1	1
津 田 塾 大		1	1	
国 際 基 督 教 大		1	1	
関 西 学 院 大	12	19	28	27
関 西 大	14	17	7	11
同 志 社 大	21	26	27	32
立 命 館 大	4	3	4	5
大 阪 歯 大		1		1
大 阪 医 大	2	2	1	4
関 西 医 大	2		1	1
兵 庫 医 大	3	4	1	3
そ の 他	14	15	27	30
合格者計 (内医学部)	142 (11)	153 (8)	173 (3)	172 (10)

(岡山白陵)

昭和60年 東大3,京大12,国公立大医学部10 (卒業生数83)

—— 学寮完備の新進気鋭校 ——

国 公 立 大 学			59・60年 国公立大合格者数36名			
大 学 名	60年	54~60年	大 学 名	医	歯	薬
東 京 大	3	6	東 京 大	1		
京 都 大	12	23	京 都 大	2		
大 阪 大	8	19	大 阪 大		2	2
北 海 道 大		5	東 北 大		1	
東 北 大	1	4	北 海 道 大		1	
横 浜 国 大	1	2	東 京 医 歯 大		1	
名 古 屋 大	1	5	三 重 大	1		
九 州 大	2	9	鳥 取 大	1		
神 戸 大	4	18	岡 山 大	2	1	
岡 山 大	3	44	広 島 大		1	
広 島 大		9	山 口 大	3		
山 口 大	3	9	徳 島 大		1	
高 知 医 大	1	6	香 川 医 大	1		
高 知 大	1	8	高 知 医 大	3		
大 阪 市 大	9	15	大 阪 市 大	2		
神 戸 商 大	2	15	和 歌 山 県 医 大	2		
そ の 他	22	153	福 島 県 医 大	1		
合格者数 (内医学部)	73 (10)	350 (42)	奈 良 県 医 大	2		
卒 業 生 数	83	448	静 岡 薬 大			4
対卒業生国公立大合格率	87.9%	78.1%	防 衛 医 大	1		
			合 計	22	8	6

私 立 大 学			
大 学 名	60年	54~60年	
早 稲 田 大	5	31	
慶 応 義 塾 大	12	40	
上 智 大	6	12	
東 京 理 科 大	2	9	
中 央 大	1	14	
国 際 基 督 教 大	1	1	
青 山 学 院 大	2	8	
東 京 女 子 医 大	1	2	
関 西 大	4	38	
関 西 学 院 大	12	68	
同 志 社 大	6	45	
立 命 館 大	4	26	
大 阪 歯 大	1	6	
関 西 医 大	1	7	
兵 庫 医 大	1	9	
京 都 薬 大	5	11	
神 戸 女 子 薬 大	5	8	
神 戸 女 学 院 大	1	3	
そ の 他	11	97	
合格者計 (内医学部)	81 (7)	435 (42)	

白陵会ニュース

★第三代会長に黒川氏就任

同窓会活動再スタート以来、第二代会長としてご尽力いただきました黒坂康夫氏の任期満了に伴い、第三代会長として黒川芳一氏(副会長・一期生)が先日の役員会の席上満場一致にて選出されました。

黒坂前会長は、新生白陵会の会長として名簿発行、創立二十周年記念行事、組織の再建とつぎつぎと会務を処理され、園長先生の急逝に際しては動揺する同窓会をまとめられるなど任期中多大の功績を残されました。このようにそのお人柄により同窓会を今日まで明るくご指導いただきました黒坂前会長に厚く感謝申し上げます。このように、黒川新会長を迎えます。充実した白陵会に一層のご協力を賜りますようお願い申し上げますと共に、総会をはじめとする今後の同窓会活動にご期待下さい。

★役員研修旅行実施される

去る六月八日、九日役員研修旅行が丹後半島方面へ一泊二日の日程で実施されました。役員が会費を出し合い観光バス一台を貸切つての旅は、三木理事長、浜田先生、大島先生をお迎えしての和やかな旅となり、役員相互の親睦を図ると共に研修会では総会のことなど活発な話し合いが続けられ有意義な会となりました。

★運動会の同窓会長杯を新調

第二十二回運動会を前に、デコレーション賞第一位に贈られる白陵会カップ(同窓会長杯)が新調され真新しいカップが九月十五日の運動会で披露されました。また、卒業生への記念品として新にアルハムが加えられることになり、二十一期生から手渡されることになりました。

★会員数三、〇〇〇名の大台に

本会の会員は、白陵高等学校の卒業生からなっています。二十回生を迎えた今年はついに三千名の大台を突破し、現在三、一三三名です。

★住所変更の際は必ずご連絡を!

転宅、就職、大学進学等で住所を変更された場合は必ず事務局までお知らせ下さい。会報等の郵便物が配達できないことがあります。次回名簿編集の資料にもなりますのでよろしくお願い致します。

白陵会役員名簿

副会長	黒森沼上磯天名神貞貞清萩下遠伊鎌正伊
理事	藤山村藤本瀬田広吉野倉野田本川
常任幹事	山田井藤山村藤本瀬田広吉野倉野田本川
顧問	山田井藤山村藤本瀬田広吉野倉野田本川
会計	山田井藤山村藤本瀬田広吉野倉野田本川
監事	山田井藤山村藤本瀬田広吉野倉野田本川
幹事	山田井藤山村藤本瀬田広吉野倉野田本川
校内幹事	山田井藤山村藤本瀬田広吉野倉野田本川

久小西村山畔宮小長福原黒長大川芳山牛秋岡白片片水若志中山大池鎌正伊遠下加萩清吉貞神天名磯上沼森黒
保川 上口上崎紫井井田田浜内副木内尾田野水山山田松方沢戸崎田田井藤山村藤本瀬田広吉野倉野田本川
博詠善幸 陽一龍孝正 憲義義健正英直清晃一安 正賢敏章公芳和達 康雅義明達 裕泰正義喜好勝芳
彦美弘生透昇郎 費月昌和洋雄博文憲嗣樹樹和生男孝堅修彦悟彦快律寛野也寛夫宣郎久矢始資文明和裕道行一
14 12 15 15 12 12 11 11 8 6 4 3 3 2 2 1 20 19 18 17 16 15 14 13 12 11 9 8 6 5 4 1 1 1 10 10 7 5 10 9 3 3 2 2 6 3 1 1
(数字は卒業回数)

白陵会収支計算書

昭和59年4月1日～昭和60年3月31日 (単位円)

収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
会 費	1,670,000	会 議 費	351,805
雑 収 入	9,200	慶 弔 費	72,000
預ケ金利息	19,529	消 耗 品 費	7,940
		通 信 運 搬 費	185,270
		支 払 手 数 料	100
		印 刷 費	202,500
		雑 費	91,700
前期繰越	5,851,926	後期繰越	6,639,340
合 計	7,550,655	合 計	7,550,655

編集後記

園長先生胸像完成。ぜひ一度お訪ね下さい。総会を機に久しぶりの同窓会。そんな声があちこちで聞こえてきます。卒業後の〇〇年間でみんな随分と成長されたことでしょう。でも苦勞を共にした(っ)友達同志。お互いの気持はしっかりと結ばれています。皆さんの懐かしい顔が浮んできます。では総会でお会いしましょう。(編集委員一同)